

HP 開示文書

当院では電子カルテに記載された内容を用いて、糖尿病患者さんが治療を継続して行くための支援のあり方に関する研究を実施しております。本研究は、日本電信電話株式会社（NTT）と東京大学との間で締結された東京大学 Center Of Innovation (COI)拠点における共同研究契約にもとづき実施されており、東京大学医学部附属病院が研究主導施設として実施致します。なお、電子カルテに記載された情報は個人が特定できないように処理してから研究に使われます。また、研究に必要な解析や情報の取り扱いとは全て院内で学内の研究者によって行われ、情報が外部に持ち出されることはありません。

【対象となる方】

2004年1月1日以降、東京大学医学部附属病院の糖尿病・代謝内科の外来に初診で来院し初診日から1年以内に国際病名分類に従って糖尿病の病名コードが電子カルテに入力されており、HbA1cの検査指示が初診日から数えて1年以内に入力された患者さん

【研究の意義】

糖尿病の進行を遅らせ合併症の発症を予防するためには、診断後早期からの血糖コントロールが重要であり定期的な通院と治療の継続が重要ですが、患者さんが通院や治療を継続していくことの重要性を認識していないことも多く、治療意義を理解できずに受診を自己中断してしまうことが問題となっています。この研究を進めることで、こういった患者さんの数を減らせるのではないかと考えています。

【研究の目的】

①受診や治療中断と関連のある患者さん特性（受診中断と関連する因子）を明らかにし、②それらの特性を用いた数理モデルを確立して患者さんの行動（受診の中断など）を予測し、③将来的に受診中断の可能性が高い患者さんに対して治療継続を促すプログラム（療養指導など）を開発することを目的としています

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで平成27年10月27日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成27年4月

【研究機関名】

東京大学医学部附属病院企画情報運営部

本研究に必要な資金は、東京大学 CenterOf Innovation (COI)拠点における共同研究契約にもとづき、同研究費より出資します。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学大学院医学系研究科健康空間情報学講座 特任准教授 脇嘉代

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5800-9129 FAX：03-5800-9129

Eメールでのお問い合わせ：kwaki-tky@umin.ac.jp